

自転車無事故無違反

篠山東雲高生63人達成

高校生の自転車の安全利用を推進するため、県警が取り組んでいる「自転車セーフティプロジェクト（高校生チャリプロ）」で、丹波篠山市の県立篠山東雲高校の全校生徒63人が、5か月間にわたって無事故無違反を達成した。篠山署で10日、生徒代表に県警交通部長賞の表彰状が伝達された。

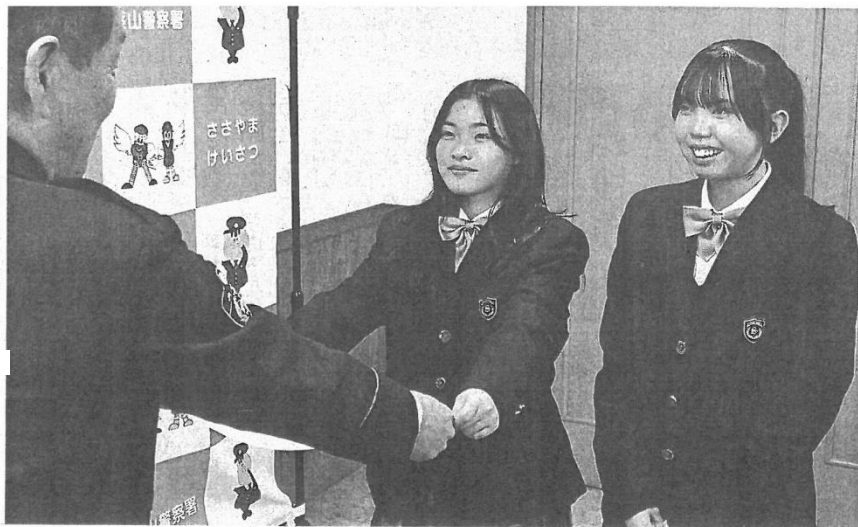
県警は2020年度から「高校生自転車交通事故防止アクションプログラム」を展開。今年度は名称を変更して実施した。同校では、28人が自転車通学をしており、片道1時間かけて通う生徒もいるという。生徒らは高校生チャリプロで自転車の交通ルールやマナーを学習し、昨年8月から12月末まで、私生活も含めて全校生徒が無事故無違反に挑戦した。

伝達式では、いずれも2年の生徒会長、さんと副会長のさんが、署長から表彰状を受け取った。さんは「これからも全校生徒で自転車の安全利用に取り組みたい」と気を引き締め、さんは「受賞できたことはみんなが頑張った成果で誇り」と話した。

◆読売新聞オンライン

読者会員登録で大阪本社版朝刊の各地域版がカラーでご覧いただけます

県警交通部長賞を受け取るさん（中央）とさん（篠山署で）



高校生チャリプロ 篠山署 県警表彰状

2025年3月11日

読売新聞